

学校教育目標	①自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします【知】 ②自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を伸ばします【徳・体】 ③共に認め合い、参画し、自他および社会を高めていく力を伸ばします【公・開】 【具体的な取組目標】 ①学習の基礎・基本を身に付け、それらを基に活用・探究していく学習力を養うと共に、自立的に学び続ける意思を育みます。 ②生徒自らが心身の健康や体力の維持・増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢を育みます。 ③仲間や地域の人たちと協働して取り組む活動を通して、人とともに生きる大切さを理解し、その実践力を育みます。			
	創立 38 周年 児童生徒数: 539 人	学校長 鈴木 博道 主な関係校: 南戸塚小学校 下郷小学校 (小雀小学校) (千秀小学校)	副校長 塩澤 恵子 2 学期制	一般学級: 14 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 〈言語能力〉 〈情報活用能力〉 〈問題発見・解決能力〉 〈自分づくりに関する力〉 〈健康・安全・食に関する力〉	南戸塚中 ブロック 南戸塚中学校 南戸塚小学校 下郷小学校	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組 他の人や社会に役立つ人を目指して、主体的に行動し、 たくましく生きる子ども ・合同研修会を活用し、9年間で育てる子ども像の実現のための資質と能力についての共通理解を図る。 ・公開授業を通じて、保護者や地域の方々の意見を交えながら、資質・能力の育成を図る。 ・合同授業研究会を通じて、育成の方策が効果的となっているかを検証する。
---	---	---

中期取組目標 「チーム南戸塚」として組織的な学校運営を行い、「誰もが・安心して・豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ・生徒、保護者、地域が参画する学校評価を実施し、根拠に基づいた改善を重ねます。 ・生命を大切にすることを第一に考えた、安心、安全な学校づくりを目指します。 ・生徒が仲間と協働し学びを深める授業を実践し、主体的に取り組む態度を育成します。 ・地域社会との関わりを大切にすることで、社会に貢献できる力を育てます。

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善 担当 学習指導部・教科会	①学習指導要領の趣旨に基づく実践方法や、個別最適な学びについて効果的な学習形態を教科ごとに研修し、研修会で発表し、相互に研究を深める。②「総合的な学習の時間」における探究学習の充実を図る。その中で従来のキャリア教育のほかに、柱となる取組をつくる。
徳 人権教育 担当 人権国際理解推進委員会	①横浜子ども会議の取組により、生徒の自主的な活動を重視し、小中ブロックの交流により継続的な人権教育を推進する。②道徳の授業・学校行事・地域行事・小中合同の行事を人権教育に効果的に繋げる。③小中合同研修会を通して、テーマに沿った人権教育に対する理解を深める。
体 健康・安全管理 担当 保健指導部・保健体育科	①生徒による安全点検の実施結果を公表して危険箇所を把握し、職員と共に安全意識を高め、安全で快適な学校生活を送れるよう学習環境を整備する。②災害や事故発生時に全職員が自主的に対処する研修をすすめ、訓練はより緊張感を持つよう企画する。③日常の消毒や換気を継続し、健康意識を高める。④保健体育科の授業や部活動を通して体力向上、健康維持およびその意識を育成する。
公 開 主体的生徒活動と地域・社会貢献 担当 特活指導部	①話し合い活動を充実させるために、各委員会の活動や行事などの取組を全校に伝えるとともに、課題を解決する話し合いの場を設定する。②地域行事やボランティア活動の情報提供を行い参加を促すことで、地域の方々と協働し、社会に貢献しようとする態度を育む。③仲間や地域の人たちと協働して取り組む活動を通して、人とともに生きる大切さを理解し、その実践力を育む。
いじめへの対応 担当 専任・生徒指導部	①生徒アンケートを定期的に実施し(年4回)、教育相談の場において、傾聴・受容的姿勢で臨む。②基本的な生徒指導対応の方法等を見直す。③保護者との連絡をしっかりと行い、保護者の考えや意見等の発信も丁寧に聞き取り、全職員で共有する。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 企画運営会	①各指導部長主宰の校内研修を計画的に実施し、OJTによる有効な人材育成を定着させる。②部門会議開催前に議題を明確にし会議に臨む。また、その内容を学年職員にしっかりと伝えるなど、情報共有も確実に実行。③学年連絡会で情報、資料共有を図るなど、学年や分掌業務の連携を工夫し、効率的な業務遂行を習慣づけ、働き方改革推進につなげていく。
受容型生徒指導 担当 生徒指導部	①定期的な生活アンケート実施と教育相談の充実により生徒理解を深め、家庭とも連携をはかる。②授業・休み時間・昼食時に廊下・保健室等で積極的に生徒たちの中に入って行く。③教育相談を積極的に行い、傾聴を大切に、問題行動等の未然防止に努める。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	①各学年と連携し、特別支援を要する生徒を把握する。また、担任にアンケートを行い、各クラスの状況を把握する。②特別支援教室の有効活用を進める。③不登校生徒・保護者との相談活動を充実させ、必要に応じて他機関と連携する。
担当	
担当	